

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010332

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	16	交通体系の整備	事業優先度	B		
単位施策	1	道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	町道排水改修事業		見直し年度			
事業期間	平成26年度～平成27年度		担当課	10 建設水道課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	排水改修箇所			#N/A		
事業目標	4箇所		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
全体計画 事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画 内容	排水改修 4箇所 【平成26年度】 市街地(港町)、開生3号線 【平成27年度】 市街地(魚田)、栄丘幹線		・市街地(港町) ・開生3号線	・市街地(魚田) ・栄丘幹線		
	事業費(千円)	18,000	0	11,000	7,000	0
計画 事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
実績事業費	事業費(千円)	10,800	0	10,800	0	0
実績 事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		(実施内容等) ・市街地(港町) ・開生3号線 ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果
	前期計画からの継続	年度目標値	2箇所	2箇所		
	第6期計画への継続	年度達成率	#DIV/0!	98%	0%	#DIV/0!
		全体達成率	0%	60%	60%	60%
		事業進捗状況	☆☆☆☆			

事業名	町道排水改修事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	渡邊孝司
		評価者 作成者 職氏名	土木管理係長	田原慎也

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	排水	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	排水改修箇所	
【抱える課題やニーズは】	土砂堆積による側溝、流水機能低下の排水による採草地、家屋への被害。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	採草地及び家屋への被害防止。	① 排水改修箇所/排水改修箇所	目標年度	平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	排水の機能低下の解消による採草地、家屋への被害の未然防止。		目標値	2箇所
			実績値	2箇所
			達成度	100.0%
		②	目標年度	平成26年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事を発注し排水改修を実施した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町道の排水であるため、維持管理を行うのは道路管理者となるため排水の流水機能の確保は、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、排水機能が確保されたことで採草地及び家屋への被害が未然に防止することができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	本事業を実施したことで、採草地及び家屋への被害が未然に防止できたことは、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 人員削減	
課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	排水の機能低下を解消したことによる採草地、家屋への被害を未然に防止できたことは公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
課題あり	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
排水の機能低下を解消し被害を未然に防止することは必要であることから、計画どおり事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
排水の機能低下を解消し被害を未然に防止することは必要不可欠であることから、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止